

2019年度 東海北陸自動車道 ■■■管内維持修繕業務 埋設物(ロードヒティング)損傷事故

NEXCO

1. 業務名 2019年度 東海北陸自動車道 ■■■管内維持修繕業務
2. 受注者 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
3. 発生日時 2019年10月28日(月)22時20分頃
4. 発生場所 R41 東海北陸自動車道 141.93KP
5. 概要 夜間通行止め工事にて、車線分離(中分チャターバー)の取替作業中、埋め込み部の穴を拡幅・整形する際、誤ってブレーカーを下部に強くあててしまい融雪装置ロードヒーティング(ヒートパイプ)を損傷させたもの。
現場責任者 ■■■
作業員 ■■■

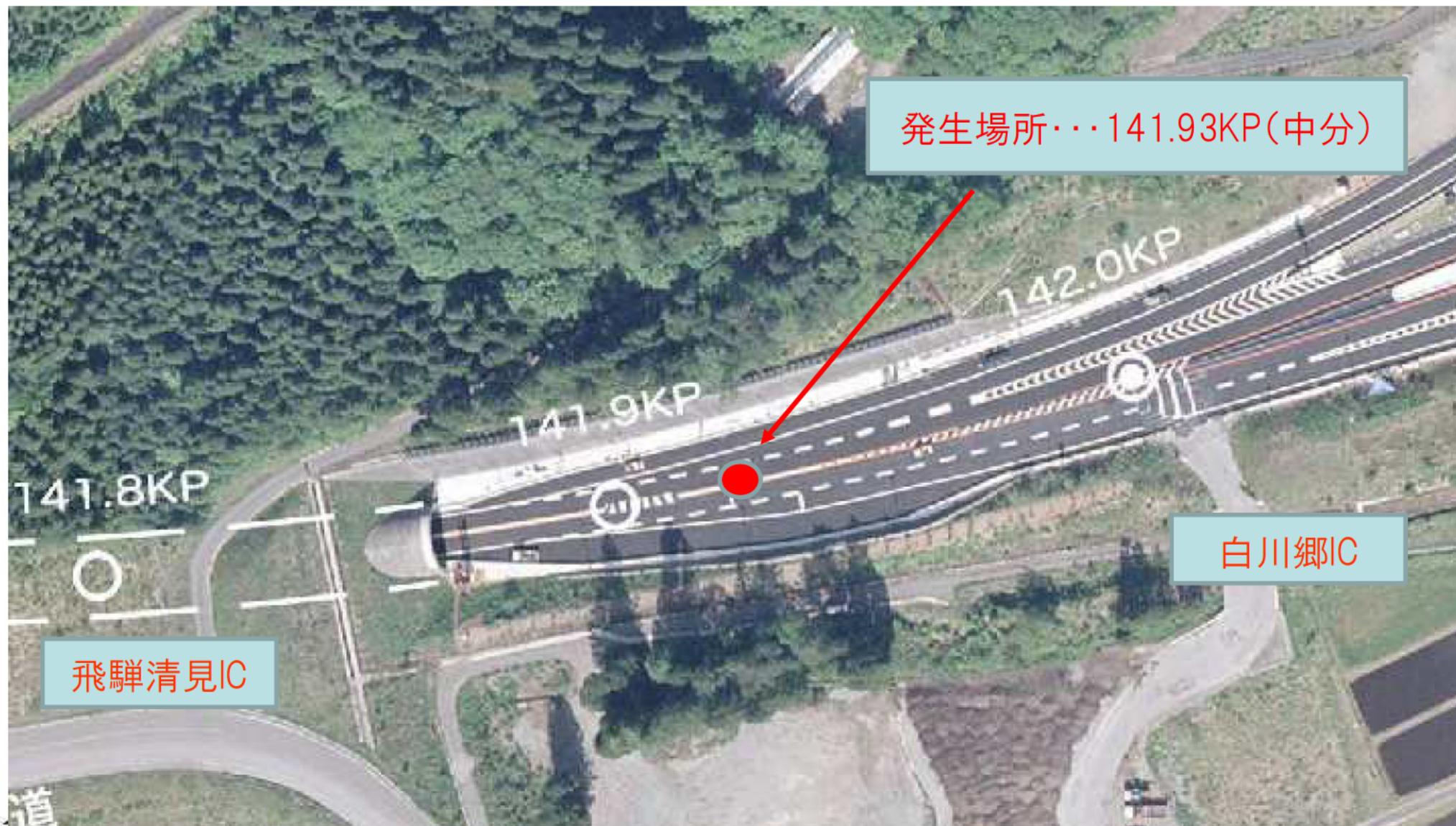
6. 時系列

- ・22:20 現場責任者よりメンテ現場代理人へ事故連絡。
現地作業の中止。
- ・22:25 現場代理人から■■■(保)保全計画課長へ電話にて第一報。
保全計画課長から施設課長に状況確認依頼。
- ・23:10 ■■■ 現地到着し補修を開始。
- ・23:25 ヒートパイプ溶液の補修(回路遮断)を完了(■■■)

7. 緊急安全大会 を翌日(29日)16:00～

2019年度 東海北陸自動車道 管内維持修繕業務 埋設物(ロードヒティング)損傷事故

本日の作業箇所

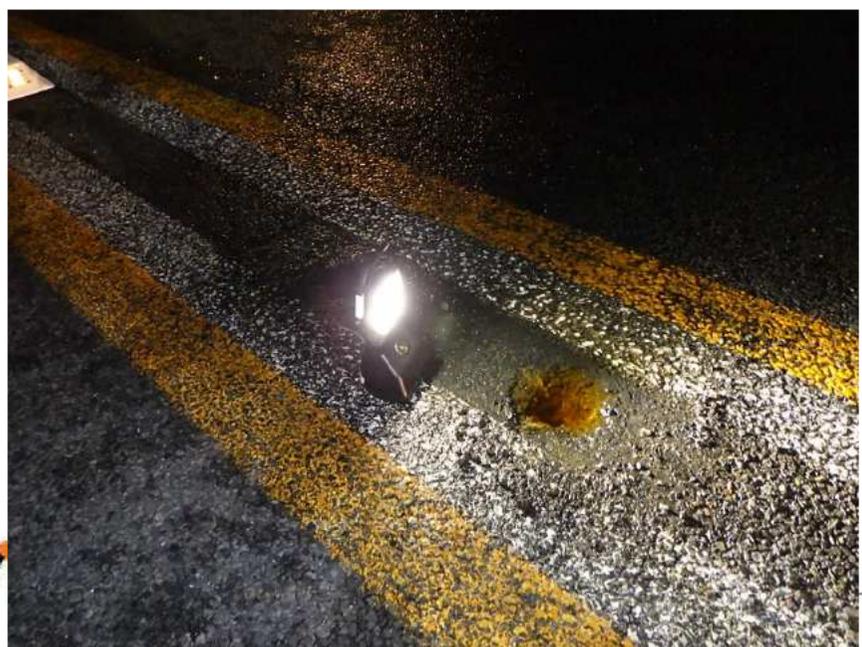
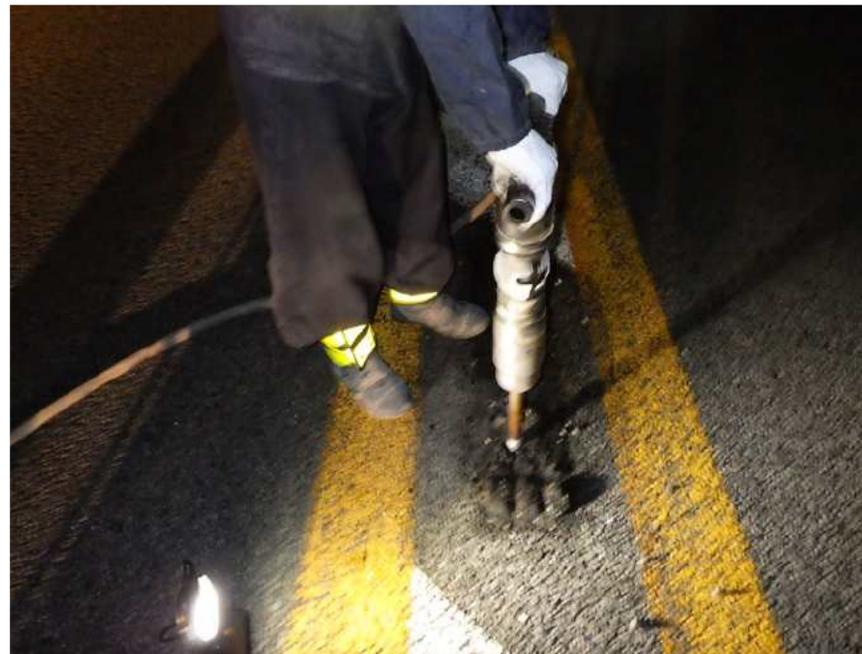
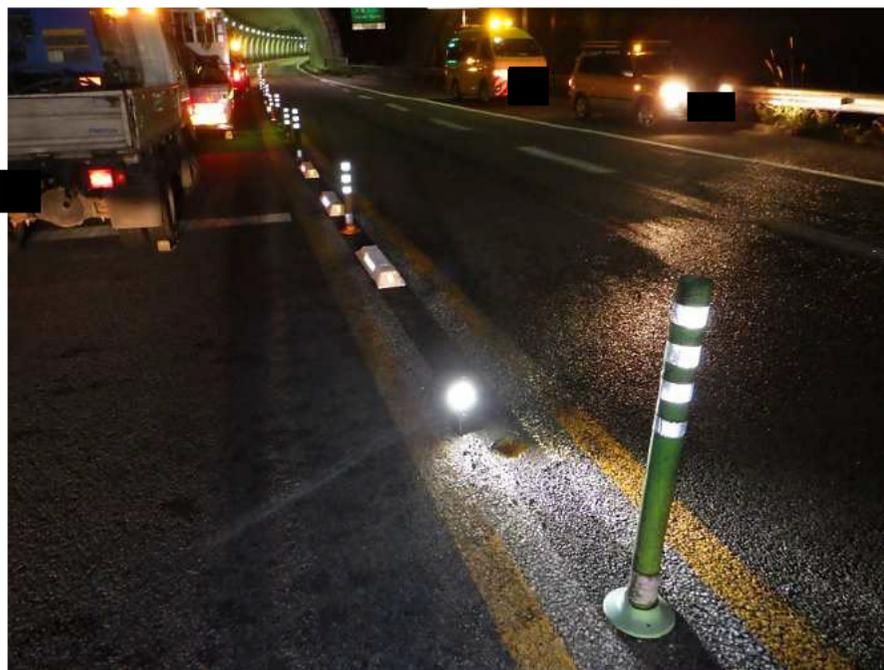


飛騨清見IC

発生場所...141.93KP(中分)

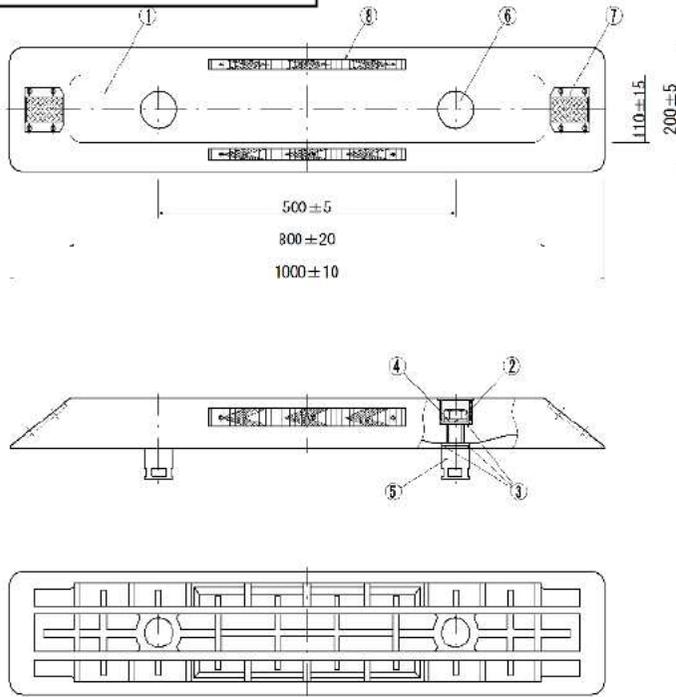
白川郷IC

2019年度 東海北陸自動車道 管内維持修繕業務 埋設物(ロードヒティング)損傷事故



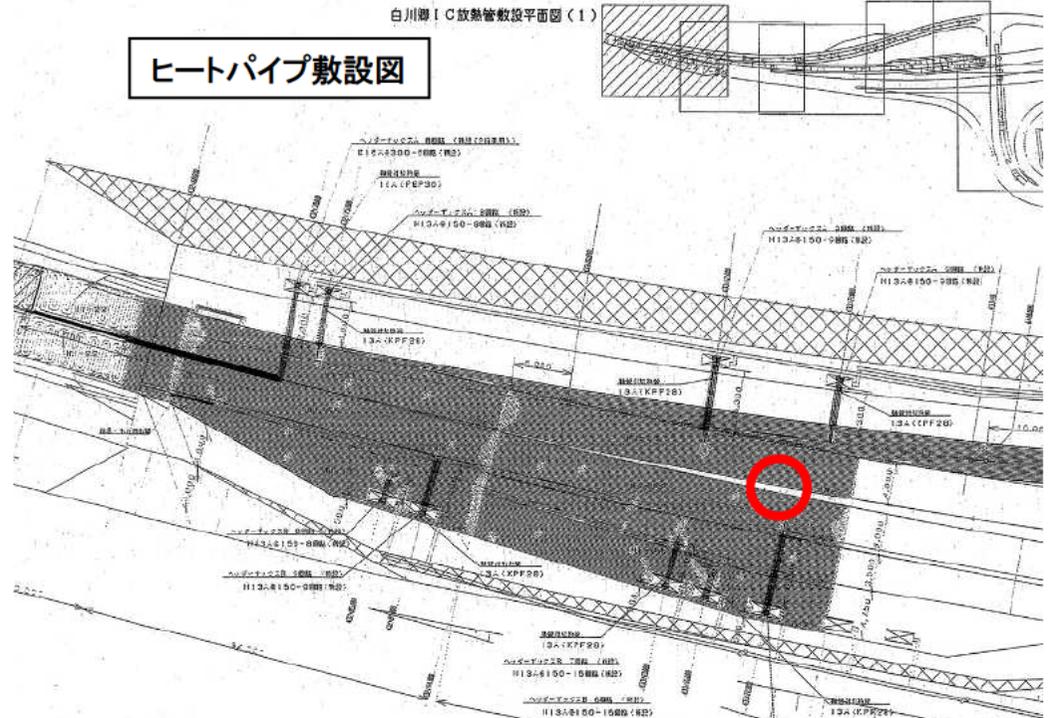
2019年度 東海北陸自動車道 管内維持修繕業務 埋設物(ロードヒティング)損傷事故

チャッターバー構造図



部材名	寸法	材質
① プラック	200×1000×80	再生プラスチック
② フルト	N24×96	汚泥詰りゆっき
③ 平鍔金	N24	汚泥詰りゆっき
④ ばね座金	N24	汚泥詰りゆっき
⑤ 鋳鉄アンカー	φ48×50	アルミニウム合金ダイカスト
⑥ キャップ		ポリエチレン樹脂
⑦ 埋設層厚さA		アクリル樹脂
⑧ 縦筋間隔	5×20±5	縦筋間隔プレート(埋設層内)

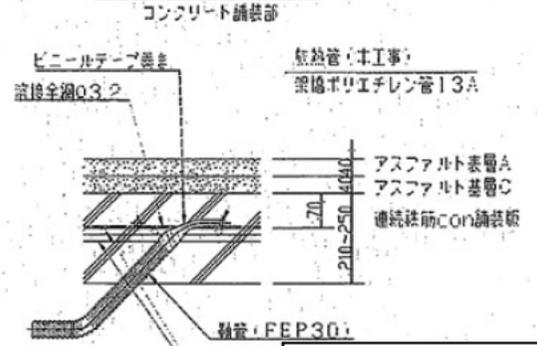
ヒートパイプ敷設図



■ 状況(現在確認中)

埋設物に関する近接施工等の事前協議 ⇒ 行っていない。

土工部舗装断面 S=1:10



ヒートパイプ断面図